

マデアルの意味の拡張と新用法

言語学・応用言語学研究室 4 年 香月望美

1. はじめに

近年 Twitter などの SNS で(1)のような、これまでにないマデとアルが連続する表現が出現している。

- (1) a. 寒すぎて死ぬマデアル。
(寒すぎて、死んでしまうと感じる程だ。) [Twitter 2016/01/01]
- b. 続き気になって、寝るのをやめるマデアル。
((何かの) 続きが気になるため、寝ることをやめる可能性が出てきた。)
[Twitter 2016/01/01]

従来、マデとアルが連続するもので一般的な表現は、次の(2)のようなものであった。

- (2) a. 髪が長くて、腰マデアル。
- b. 充電器マデアルなんて、品揃えがいいね。

本論文では、(2)の一般的な用法とは異なる、近年出現した(1)のようなマデとアルが連続する表現をマデアル新用法と呼び、マデアル新用法がどのような用法であるのか記述した。

2. マデアル新用法の実態調査

2.1. 用例収集

Twitter を用い、2016 年 1 月 1 日から、1 月 14 日の期間で、マデアルの新用法の用例の収集を行い、1000 文の用例集を作成した。14 日間で、1000 例文以上が観察されたことから、少なくとも SNS 上では、マデアルの新用法が普及していると分かる。

2.2. 認知度と使用状況

大学生男女 32 人に対し、マデアル新用法についてのアンケート調査を実施した。アンケートは 2 部構成になっており、第 1 部では、回答者の情報や、マデアル新用法についての全体的な質問を行った。結果を次のグラフで示す。

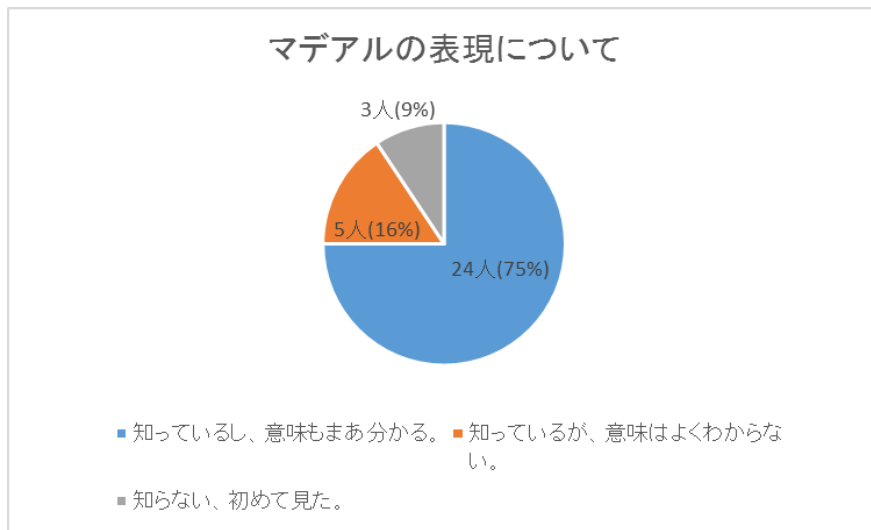


図 1：マデアル新用法の認知度

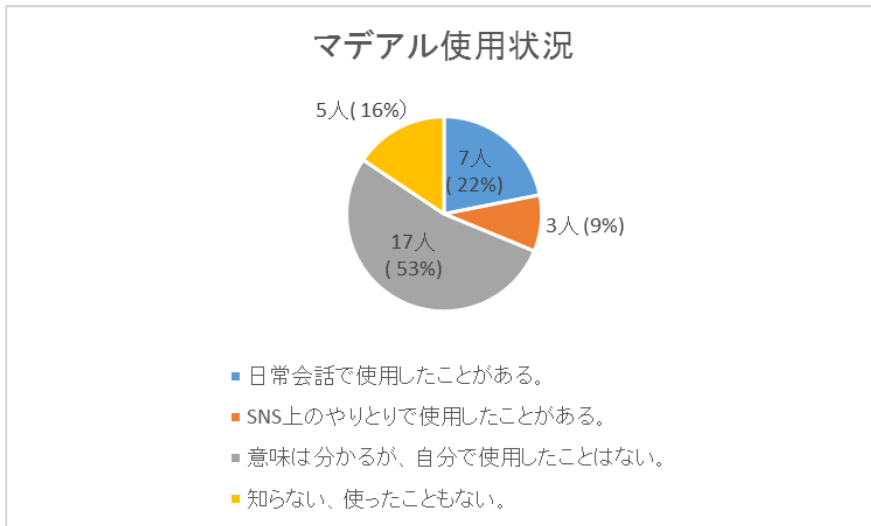


図 2：マデアル新用法使用状況

2.3. 容認度

アンケートの第 2 部では、マデアル新用法を用いた 42 例文を挙げ、何らかの解釈で、容認できるかできないかを問う形式で調査を行った。アンケートで使用した 42 例文は、用例収集で観察された文の単語を文脈が無くとも、独立で意味が分かるものに置き換えたものや、あえて用例収集では観察されず、容認度は低いと予想されるものも作例し、まぜて用いた。それぞれの例文について、どんな用いられ方でも容認する人もいる一方、どんな使い方も容認できないと回答した人もいた。そのような中で、80%以上の方が容認する文が以下の(3)である。

- (3) a. 一等が当たるなんて、今年の運使い果したマデアル

- b. 腹減りすぎて、今飯テロされたら、そいつ殴るマデアル
- c. コンビニの焼き鳥美味しすぎて、買い占めるマデアル
- d. 雨降ってだるいから、学校休むマデアル
- e. 石原さとみ可愛すぎて、心臓止まるマデアル
- f. ヒートテックが有能すぎて暑いマデアル
- g. 寒すぎて、死ぬマデアル
- h. 肌荒れひどすぎて、学校休むマデアル
- i. .明日バイトの面接落ちたら、マジで破産するマデアル

これらの文の共通点は、マデアルの前接要素が、まだ行われていない行為や、実際に感じていない、行わないこと、また確実ではない予想をするものである、ということである。

3. 一般的用法との比較

3.1. 記述的特徴

マデアルの新用法の用例集から、新しいマデアル表現と、従来のマデとアルが連続した表現との記述的特徴を比較した。最も注目すべき両者の異なる点は、前接要素である。従来の用法では、マデアルの前接要素は、ほぼ全て名詞であるのに対し、新しいマデアル用法では、表1のように動詞が一番多く、名詞を大きく上回っている。(3)の中でも、(3f)以外の前接要素は動詞であり、容認度も高いことが分かる。

動詞	名詞	形容詞	副詞	副助詞	助詞	?	計
783	106	105	1	3	1	1	1000

表 1：マデアル新用法の前接要素

また、他の項目も含めた両者比較のまとめは以下の表2の通りであり、前接要素以外にも、異なる特徴を持っていることが分かる。

	従来のマデアル	新しいマデアル
前接要素	ほぼ名詞。	動詞が8割弱を占める。
前接要素の時制	時制なし、または現在の時制。	未来(まだ行っていない)の時制が半数以上を占める。
後接要素	自由。	ほぼない。文末に置かれる。
活用	「アル」の活用が可能。	活用はほぼない。
共起しやすい表現	「～カラ～マデアル」の形が多い。また、不定詞を伴い、疑問文になる場合も多くみられる。	「～スギ」表現、言い換え表現、生死に関わる表現が特に共起しやすい。

表 2：従来の用法との比較

3.2. 解釈と機能

用例収集とアンケート調査から、マデアル新用法には以下の(4)、(5)に示す2つのタイプがあることが分かった。(4)は、マデアルを「～程だ」と置き換えが可能で、「マデアル直前のことをする／感じる程、前述されている状況の度合いが高い」ことを表し〈到達〉とした。(5)は、マデアルを「～する可能性が出てきた」と置き換えが可能で、「その状況により、マデアル直前のことをするに至る可能性がでてきた」ことを表し〈可能性の出現〉とした。これら2つのタイプの解釈は、連続的であり、どちらの解釈も可能な文も多く存在するが、アンケートでは、ある程度解釈の偏りの傾向が見られた。その傾向のまとめが表3である。

- (4) a. 寒すぎて、死ぬマデアル
 b. ヒートテックが有能すぎて暑いマデアル
 c. 石原さとみ可愛すぎて、心臓止まるマデアル
 d. 試験が辛すぎて、大学辞めたいマデアル
- (5) a. 寒気がするし喉も痛いから、ワンチャン¹風邪マデアル
 b. レポートが終わらない。今日徹夜マデアル
 c. 同窓会行きたくなくなってきた。ドタキャンマデアル
 d. 新幹線5時間立つマデアル

〈到達〉に偏る時	a	生死に関わるような実際には実現しない・執行性が低い表現にマデアルが接続する場合
	b	感情や感覚を表す形容詞にマデアルが接続する場合
	c	希望・可能の助動詞にマデアルが接続する場合
	d	「～スギテ、～マデアル。」の文の形の場合
〈可能性の出現〉に偏る時	a	「可能性」と結びつきやすい副詞が文中に用いられる場合
	b	「～カラ、～マデアル。」の文の形の場合
	c	前部が言い切りの形、又は2文に分かれる場合
	d	状況の説明が文中にない、かつマデアルに動詞の原形が前接する場合

表3：解釈の傾向のまとめ

(4)のような〈到達〉のマデアルは、PマデアルのPに、あるスケール上の普通に期待される範囲より離れた事象を、そのスケールの極限值として掲示し、そこに及ぶ程、前述された状況の程度が高いことを表している。この用法は、従来の(6)のような用法と繋がりががあると推測した。

¹ワンチャン…若者言葉。大学生を中心に用いられている。ワンチャンスの略で、ひょっとしたら、もしかしたら、の意で用いられている。

(6) 充電器マデアルなんて、品揃えがいいね

(6)のマデアルでは、P マデアルの P で、普通の品揃えの範囲から離れている「充電器」を「品揃え」のスケールの極限值として掲示し、そこに及ぶ程、実際の品揃えが普通の範囲を超えて良かったことを示している (cf. 菊池 (2003))。このような用法は、新用法の〈到達〉の、マデによって普通に期待される範囲より離れた事象を掲示し、普通に期待される範囲を超えて、状況の程度が高かったことを表すという点で、繋がりがあると考える。

次に(5)のような〈可能性の出現〉のマデアルは、P マデアルの P に、話者の状況や判断、感想を受けての、今後起こりうる新たな可能性をおき、P の辺りまで新たに今後取りうる選択の範囲が広がったことを表している。このような用法は、従来の(7)のような用法と繋がりがあると推測した。

(7) 髪が長くて、腰マデアル。

この用法は、P マデアルの P で髪が及ぶ位置の「腰」を掲示し、髪の長さの範囲を示している (cf. 井島 (2007))。マデによってある範囲を示すという点で、新用法の〈可能性の出現〉は従来の用法と繋がりがあると考える。

4. 結論

以上の議論から、マデアル新用法と従来の用法には、記述的特徴など多くの違いがあることが分かった。その上で、従来の用法とマデアル新用法にはどのような関係があるのかを考察し、(8)のように主張する。

(8) 従来の用法は、P マデアルの P が、実際に存在するものや確定した事態でなければならないのに対し、マデアル新用法は、P マデアルの P に、実際には起こらない極限值や、今後起こる可能性のある事態をおくことで、より誇張的な意味を表すようになった用法である。

5. 参考文献

井島正博 (2007) 「サエ・マデ・デモ・ダッテの機能と構造」『日本語学論集』3: 45-82.
菊地康人 (2003) 「現代語の極限のとりたて」沼田善子・野田尚史 (編) 『日本語のとりたて：現代語と歴史的変化・地理的変異』85-105. 東京：くろしお出版。